

CS 神戸の外部評価の特長

1. ご家族アンケート調査結果の分析

- ご家族の理解や共感が得られているか、事業所側の思い込みが無いのか？
ご家族アンケートの項目と、様式1自己評価表「V. サービスの成果に関する項目」との間に相関性のある項目をピックアップし、比較して分析します。

2. CS 神戸 外部評価報告書の発行(付加価値)

- サービスの質の向上に向けての支援
 - 全体総括
 - ・第三の評価員と訪問評価員の3人で評価委員会を開催、評価を決定します。
 - ・外部評価の対象項目以外の部分での気づきを伝えます。
 - ・応援メッセージや調査員の感想を伝えます。
 - ・短時間の面談で、様式1に現れないような事例の紹介や助言をします。
 - ・全体を通じて、ご希望により参考資料の提供をします。
 - 「目標設定」項目を作成するに当たっての支援

3. 運営推進会議への参加

- 近隣のグループホーム等に評価機関として参加させていただいています。

4. 評価員の研究・学習

- 評価員は経営管理の経験者と介護現場の経験者の双方から構成しています。

5. CS 神戸外部評価審査委員会の開催(年1回)

- 評価や評価事業の運営について意見交換し、適正化を図っています。
 - ・直近では2020年3月16日に開催しました。

6. 2年目からの特長(※様式1以外に、CS神戸独自報告書を含む場合のみ)

- 過去のアンケート分析結果を比較検討します。傾向が良く判ります。
- 訪問日にアンケートをお願いし、評価機関の改善対象として役立てるよう努めています。

7. その他、心掛けていること

- ご希望により評価後のマネージメントプロセスについて提言等を行います。
- 簡にして要：自己評価表(様式1)の記入は長文を避け、大体100字に抑えて趣旨を伝えます。
- 具体的に：何を言おうとするのか？できるだけ事例や例を入れて分かりやすくすることを心掛けています。
- 焦点化：多様な課題の相互関連性を整理し、頑張れば実現できるレベルでの目標設定を提案します。

(2013.6.1 作成、2020.5.25 改訂)